



### 次回例会のご案内

是非ご出席ください！ 課題を共有しませんか？

日時 ▶ 6月13日(月) 午後7時~9時

会場 ▶ 愛宕町教会

奨励 ▶ 松木田 博 牧師 (甲府教会)

発題 ▶ 「超高齢社会のケアコミュニティづくりへの提案」  
小野興子氏 (NPO 法人山梨ホスピス協会副理事長・甲府教会員)

3ページより続き

奇蹟は、本人の努力だけではなく、家族や先生、関わってくれているたくさんの人の祈りや願いによって起こるのではないかと、思います。だからこそ、今ひかりの子どもたちに、たくさんの願いを込めて懸命になりたいと思います。ひかりで過ごす一日一日が奇蹟の種となりますように。

#### 5. ひかりの反対は？

ここでひかりの反対についてお話ししなければなりません。ひかりと正反対にあるもの、創世記にも書いてありますが、それは闇です。

大きくなっても、キラキラと澄んだ目が輝いている子どもたちの中には闇はありません。ただ、個性的な子どもたちを取り巻く環境の中には時に闇をみつめることがあります。

まず、  
◎ひかりの家の門をたたくとき…親御さんの心境は大変複雑。深く傷つき、深く悩んでいる方が多い。

◎家庭環境…愛情をそそいでも大人が思うような答えが返ってこない。何度言っても危険がわからない。普通ではないわが子の成長。追いつめられた家庭の中→親御さんの精神的ストレス。

それでも年齢になったから園を探すと、あっちで断られ、こっちで断られ、行き場がなくなってたどり着くことも少なくありません。

たどり着く頃には、親御さんの鬱や近所の方から虐待通報された方なども珍しいことではありません。

あるお父さんが言っていました。先生、この子を普通の子として育ててはいけませんか？ 行政で障害児と言われました。普通ではないと言われました。わたしはこの子の個性だと思って育ててはいけませんか？

あるお母さんがつぶやきました。やっぱり子どもをたたいてはいけませんか？ 何度言ってもわか

らないから、熱いやかんに触らせました。／わたし、どうしてもこの子のことが受け入れられないんです。この子がする変な行動が好きになれないんです。

そして、卒園するとき何人かのお母さんから、「ひかりに出会うまでは、この子を連れていつ死のうか、いつ死のうか、そればかり考えていました。ひかりに出会って本当によかったです。ありがとうございました」。

ひとつひとつの親御さんの本音が胸につきささります。

親も追いつめられているんです。ひかりに来ることで、親御さんの負担が減り、手をあげる回数が減る。先生という相談相手が出てきて、気持ちやわらぐ。より愛情を豊かに注ぐことが出来るようになる。

本当にひかりの家の力が必要な家庭はたくさんあります。その家庭のためにひかりの門は常に開かれた門である必要があります。

#### 6. ひかりの家の使命としてわたしは、

「よくいらっしやいました。今までよくがんばっていらっしやいましたね。これからは、共に歩ませてください」と、どのご家庭にも言いたい。

受け入れられるという安心感は、人の心をいやし、強くします。→どんな子にも安心して過ごせる環境が与えられるべきであり、親御さんも安心して子育てに取り組むことができます。

★

暗いトンネルの中を手探りで歩きながら、いろんなところをつまずき転んで、ひかりという扉のノブを開けると、そこは明るく暖かく、その部屋の中には様々なノブがあり、その先にはまた新しい明るい道につながっている。そんなひかりの家であり続けたいと思っています。

☆「先見性をもって世の中に仕えている方たちが、キリスト者から起こされている！」、毎回毎回、例会に参加して思われることです。「がんばろう！、がんばれ！」が叫ばれる今日ですが、今回の発題の言葉にあったように、「共に歩ませてください」、そして究極は「キリストにあって生きよう！」ということかなと思うこの頃です。(清藤)

編集後記



Tomosibi

# 灯

## 山梨県キリスト教連絡会

2009年10月設立 代表：小島章弘

事務所 ▶ 〒400-0024 甲府市北口3-4-23 日本基督教団 愛宕町教会内 Tel 055-253-3150

NEWS LETTER NO.9

### 奨励：「在る」 (聖書：創世記 第1章27節、2章7節) 小島章弘 牧師 (愛宕町教会協力教師)

み言葉に聴き、そこから私たちの生きる深い意味を聞き取りたいと思います。

旧約聖書では、「神」を様々に表現しております。「創造主なる神、妬む神、情熱の神、まどろむことのない神」などです。中でも、神ご自身が自己紹介なさっている箇所があります。モーセが召命を受ける場面で、出エジプト記3章14節「わたしはある、わたしはあるという者だ」と記されております。神ご自身が、ご自分のことを「在るという者だ」とおっしゃっているのです。

今日の箇所はいわゆる創造物語です。神が『光あれ』と言われて、光があったのです。『あれ』という言葉が使われております。神が『光あれ』と言われたら光があった、それは、神が「存在を存在たらしめる方である」ということです。

では、人の創造について、聖書はどのように記しているのでしょうか。

創世記1章27節は、BC6世紀、イスラエルのバビロン捕囚期に書かれたと言われております。イスラエル民族はバビロニアで奴隷として扱われ、ボロボロになっておりました。これはいわゆるP典資料です。

人は「神にかたどって創造された」と言われております。「Image of God」神のイメージに創られたというのです。これは「人間宣言」といっても良いもので、素晴らしい表現だと思います。「神にかたどって創造された」存在として、イスラエル民族に希望をもって生きることを促したのです。

次に創世記2章7節は、BC9世紀頃のJ典資料で、神を「ヤハーウェ」で表しております。ここでは、「主なる神は、土(アダマ)の塵で人(アダム)を形づくり、その鼻に命の息を吹き入れられた」と記されております。人間は、限りある、有限な者として創造されました。神が、土の塵でしかない者の鼻に命の息を吹き込み、生きた者にして下さったことが記されております。

このように人の創造について、聖書には2つの物語が記されていますが、300年もの隔りがある2つの創造物語に共通していることは、「人は、神との関係が無くしては存在することはできない」ということです。

誰もが、神によって存在たらしめられ、生かされているのです。

#### 第9回例会 発題報告

### ひかりの子

渡邊美南子氏(ひかりの家学園園長、市川教会員)、山下滋夫氏(社会福祉法人ひかりの家理事長、市川教会員)

#### ひかりの家学園の設立背景

社会福祉法人ひかりの家理事長 山下 滋夫  
ひかりの家学園は、1973年に当時の市川教会牧師・長沢仁先生が、障害児のお子さんを持つ親から子どもたちが何か学べる所を作ってもらえないかと相談を受け、会堂を使って2人の障害児を2人の保母さんとマンツーマンで始めたのが最初でした。

そのことから市川教会員がひかりの家学園を作ろうと発起人となり1974年に園舎が出来、1977年に社会福祉法人となりました。今日お話ししたいのは、1973年という年はどういう年であったか？ということ。

日本の小中学校の教育は義務教育です。昭和21年

に学校教育法という法律が定められ、学校とは幼稚園から始まって大学まで、小学校、中学校、高等学校そして盲学校、ろう学校、養護学校とちゃんと書いてある。その法律の中で、小学校・中学校は義務教育が定められ、盲学校、ろう学校は年次進行で進められました。養護学校の義務教育については「追って政令で定める」といって定めませんでした。そこで義務教育とはどういうことか、お考えいただきたい。満6歳に達したお子さんの親は修学させなければならないという義務がある。それでは50点、もっと大事なことは学校を設置する義務です。国または地



方公共団体は学校を設置しなければならない。ところが養護学校は「追って政令で定める」でしたから設置されてこなかったのです。30年近く経った昭和48年（1973年）の10月に初めて、文部省は養護学校の義務教育を54年4月1日付けで完全実施することとなりましたが、54年（1979年）までは養護学校はなかったのです。昭和36年に全国に1校ずつ設置する条例が国会で決まり所謂特別支援学校ができました。山梨県でも昭和39年に県立養護学校ができましたが、1校しか作りませんでした。今は分校を入れて15校100名からの子どもが学んでいます。当時も1300人から1500人の子どもがいた筈なのです。学校が無く、行く場所がありませんから、家庭でお父さんお母さんに守り育てられました。しかし次第に親たちは、なんとか教育してほしいと思い、場所を探し求めていた中、1973年、そういう何もない状況で長沢先生が市川教会を母体にした「ひかりの家学園」を発足させ、キリスト教主義の療育活動が行われたのです。そして1979年に養護学校も義務化されました。

1981年、長沢先生の後任として三井賢先生が赴任し、牧師、市川幼稚園・ひかりの家学園の理事長になりました。障害児教育が形になっていない時代から支えたのが市川教会でした。その頃、私は国立特殊教育総合研究所（久里浜、横浜）に行っており、設立当初は長沢先生とキャンプなどお手伝いしていました。

1979年に山梨大学に赴任して、また長沢先生と一緒にになり、1984年から理事を頼まれ、お手伝いし、現在に至っております。

ひかりの家学園の中身については、これから、園長の渡邊美南子先生からお話させていただきます。

## ひかりの子

ひかりの家学園園長 渡邊美南子

ひかりの家学園の渡邊美南子と申します。今日は、お招きいただきありがとうございます。まず、私の自己紹介をさせていただいた後に、ひかりの家学園についてお話させていただきます。

私は、新潟県太夫浜市に生まれました。父は昨年6月に他界しました牧師の三井賢、母は三井正栄です。兄が3人生まれた後、少し離れて女の子の誕生でしたので、両親もまた周りの人たちも、とても喜んでくれたようです。特に父は兄たちがうらやむほどかわいがってくれ、すぐ上の兄は私がいかに甘やかされて奔放に育っているのを見て、「このままだったらミナコが不良になる！」と泣いて訴えていたほどでした。3歳の時に父の仕事の関係で山梨に来ました。赴任先は市川教会です。3歳以前の記憶はありませんので、生まれてから最近まで、私には『教会の子』という肩書きがありました。私のことをねこっかわいがりしていた父でしたが、私たち兄弟にはとても厳しいルールが2つありました。一つは、日曜日には必ず教会に出席すること、です。小学校の頃はまでよかったのですが、中学に入り部活が始まってこのルールは

絶対でした。何が何でも教会学校に出席してからでしか、何もすることができませんでしたので、遅れて部活に行ったりしていました。兄たちもそうしていましたし、誰一人反発することはありませんでした。運動会の際はさすがに教会学校には出ずに行きましたが、午前のプログラムは両親が見てくれたことは一度もなく、それどころかお昼休みになっても現れず、みんなが楽しくお弁当を食べている中、兄弟でウロウロ、ハラハラ。休憩が終わるまでにお弁当にありつけるのかドキドキしながら待ち、来たときにはいい場所は全くなく、いつも校舎の影で小さくなりながら急いでお弁当を食べていたのを思い出します。二つ目のルールは、20歳まで、決してコーヒーを飲んではならない、です。このルールもとても厳しく、給食でその当時ミルメークという牛乳にいれるとコーヒー風味になる粉も許されませんでした。厳しかった分、兄弟の20歳の誕生日はとても楽しくて、父が豆や入れ方などに非常にこだわった渾身の一杯を入れてくれます。初めてコーヒーを飲む人の顔をじーっとみんなでみつめ、「にがいつ!!」の顔に大笑いしました。どれもこれも、今となってはいい思い出です。

小・中学校と公立に行った私でしたが、高校からは東京にあります自由学園に進学しました。自由学園は、羽仁もと子・羽仁吉一が創立したキリスト教主義に根ざした幼稚園から大学までの学校です。その自由学園の入学式はとても印象的でした。当時、ニューヨークタイムズの記者を長年していた羽仁翹先生が学園長でした。年齢は65歳を過ぎていましたが、これがニューヨークなんだと思わせる程、立ち振る舞いやささうと歩く姿はとてもカッコイイものでした。その学園長が入学式のときに言った言葉は忘れられないものになりました。「自由学園はあなた方を同志・同学・同業の友として迎え入れる。あなたがたは自由学園という社会をよくする為に選ばれた者たちです。そして、あなた方が今手にしている聖書はこの学園生活において最も多く開き、多く読む書物となるだろう」と言いました。私にとってはとても衝撃的な言葉でした。田舎から1人離れて不安がいっぱいな中、自分は受入れられたんだと、ここにいていい人間なんだと、自信を与えてくれ、強く歩み出せる言葉となりました。

自由学園で過ごす中で、確かに最も多く手にした書物は聖書でした。自由学園の「自由」は『真理はあなたがたを自由にする』という聖書の箇所からとられています。友人・先輩・後輩とも様々に議論しました。「思想しつつ、生活しつつ、祈りつつ」これは羽仁もと子の言葉ですが、まさにこのような学園生活でした。その中で、いろいろ考えさせられ、自分の弱さも痛感し、18歳のクリスマスに受洗をしました。

それから時がたち、お父さん子だった私は、父の手伝いがしたいと思い、ひかりの家学園に就職しました。



小さい頃からひかりの子について、父から話を聞いていたので、とても興味深く思っていました。それからどんどんひかりの子の虜になり、もう10年が経ちました。昨年、父が永眠し、山下理事長より園長の任命を受けましたので、大変微力ではありますが日々歩んでいるところです。

さて、本題のひかりの家学園のお話をさせていただきます。

ひかりの家学園は、知的障害児通園施設です。知的障害児通園施設というのは、知的に遅れがあり、通常発達しているお子さんに比べ、手厚い指導が必要であると判断された幼児の為の園です。入園にあたっては、児童相談所の医学検査などが必要となります。現在山梨県には知的障害児通園施設は3園ありまして、甲府市：つつじが崎学園、山梨市：ひまわり、市川三郷町：ひかりの家学園です。創立が昭和52年のひかりの家学園が最も古い園です。

★

ひかりの家学園の概要をお話します。

2011年4月現在29名の子どもが在籍。2歳～6歳。3～4名に対し保育士または児童指導員が療育にあたる。4クラス。1身体・3知的。大変広域から通園を希望。7市町村。2台のバスが運行している。知的レベル軽度～最重度まで。

### 1. どんな子どもたちがいるのか？

ありとあらゆる疾患をもった子どもたち…はじめて聞く病気の子もめずらしくない。

＊発達障害（自閉症の仲間・自閉傾向・小児自閉症・高機能自閉症・アスペルガー症候群・広汎性発達障害・レッド症候群・自閉症の疑いなど）  
＊脳性まひ ＊染色体異常 ＊ダウン症

### 2. 一日の様子

▶8時バス出発、9時30分バス到着／出席シール・トイレトレーニング・身辺自立。▶10時全体活動／ホール ピアノに合わせて体を動かす 体操。▶10時半／クラスおあつまり 日にち・出席・歌・絵本。▶11時／クラス活動。▶12時／給食 摂食指導。▶午後／自由時間。▶2時半／おやつ 帰りのおあつまり。▶3時／降園。

＊特別プログラム／週1回 音楽療法（音楽療法士がマンツーマンのレッスン形式）。＊スイミング療育（スイミングスクールで専門コーチ）。＊市川幼稚園との交流プログラム／通園施設が幼稚園や保育園と隣接しているのは全国的にも大変めずらしい。園庭は共有しているのでいつでも、子供たちが触れ合える環境。週一回の礼拝は合同で行う。そのほかにも運動会・遠足など合同で開催。また、発達がよい子に関しては、幼稚園のプログラムに参加。就学、就園にむけて取り組む。

基本的には、幼稚園や保育園と保育内容はさほど変わりはない。

言語の理解力がまだ乏しいお子さんや場面の切り替えが難しいお子さんがたくさんいるので、言葉だけでなく、視覚からも訴えかけるように工夫した

り、場面の切り替えの合図を決めたり、次に何をやるのかをわかりやすく説明したりと、保育の内容に工夫がある。

### 3. ひかりの先生ってどんな先生？

元気で明るい!!…三井先生がよく言っていた。ひかりの先生たちは、元気で明るくなければいけない、家事につかれたお母さんが、朝、先生に会うと、ホットするそんな職員でなければならない、と言っていました。「無邪気に喜ぶ 一人の成功をみんなで喜び合う」

### 4. ひかりの子

大変抽象的な言い方になりますが、ひかりの子は純粋で無垢な心を持った「天の国に一番近い子どもたち」であるといえます。

ひかりに数時間いるとどんな人も元気になる。どんな強情の人もやさしくなる、そんなパワーが子どもたちにはあります。

そして、みんなお祈りが大好き。ずっと、うーっと声が出てしまう子、体を動かしたくて動かしたくて仕方がない子、いろんなお子さんがいますが、不思議なことに小さいおての歌を歌って、お祈りになると「シーン」となります。朝のお祈りでは「今日も元気に過ごせますように」昼のお祈りでは「食事に感謝します」帰りは「今日一日守ってくれてありがとう」と祈ります。先生たちが考えながらそれぞれの言葉で祈りますが、どの子も静かにして耳を傾けています。

そして時々、ひかりの家にいると奇蹟としか思えない、と思う出来事に遭遇します。

3つのエピソードをお話させていただきます。（紙面の都合上「しんちゃん」のみ掲載。他に「るいくん」「同志」と題して話していただきました）

◎しんちゃん しんのすけくんという男の子がおりました。いつもニコニコしていて、部屋のヘリが大好きで、暇があると部屋の中を壁に沿ってぐるぐるぐるぐる、歩いたり走ったりしながら、柵のところにくと目線の高さを合わせヘリを目で追っていく、そんな特徴のあるお子さんでした。卒園の時、その子がしゃべれた言葉というと、「け」一言でした。「お名前を呼びます。しんの」と先生がいうと「け」ということができました。しんのすけの「け」を覚えることができたのです。それでも、大変な進歩で先生たちはとても喜びました。卒園して4年たったころ、小学校の担任の先生が訪ねてきました。ある日突然しんちゃんが歌を歌ったというのです。歌い終わるとアーメンというので、ひかりの家学園で教えてもらった歌なのではないか、と確かめにきたそうです。まさか！と思いました。お祈りの歌かな、と思いきや、そうです、この歌です！と担任の先生は答えました。まさか！と思いました。4年もの間、しんちゃんは心の中で歌い続けていたんだ、と感激しました。今はしゃべれない子、歌えない子もしっかり心の中で歌っているんだ、と確信を持ちました。

ひかりの子を見ていると思います。時に人間の力は医療や科学では計り知れない奇蹟を起こします。その